

科目コード	記号	科 目 名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
3143	G01-2	国語 I (古文) : Japanese I	1MESC B	1・50分	必修	講義・通年	履修単位	
教 員 名		岩城賢太郎 : IWAGI Kentarou						
授 業 概 要		<p>基礎的な文法事項などの学習を経たのち、説話・随筆・物語・日記・軍記物語・和歌・俳諧など、様々なジャンルの、著名な日本の古典文学作品を、客観的に分析・読解する。その上で、後の時代の関連作品(改作・芸能・絵画など)の紹介・鑑賞などを織り交ぜながら、個人々による作品の鑑賞を深め、いろいろな古典文学作品を楽しむことのできる教養を身につけてゆく。(いずれの作品も、数百年から1千年以上も読み継がれてきた、ベストセラーばかりである。これらの作品は、受講生の生涯にわたって、必ずや何らかの接点を持つことであろう。)</p> <p>また、1年間を通してチェックテスト(古典文学作品を鑑賞するための基礎知識などの習得)を行う。授業では、ほぼ毎回プリントを配布するので、順番にファイル管理していく必要がある。</p>						
到達目標				評価方法				
<p>(1)基礎的な古典文法力が身につく。動詞・形容詞・形容動詞・助動詞などの基本的な活用を理解することができる。(語学的理解)</p> <p>(2)古典常識や修辞法等を理解することができる。古典文学作品に見える生活・社会・宗教などを知る。掛詞や比喩などを理解することができる。(精神的・歴史的な理解)</p> <p>(3)作品を分析し、文脈を正確に読み解くことができる。作中時間・作中場所・作中人物の3要素を押さえながら、作品の場面展開を正確に読み取ることができる。</p> <p>(4)作品を多様な角度から鑑賞し、楽しむことができる。その作品がいかに読み継がれてきたか、どのように理解されてきたかなどを知ることを通して、個人々人の作品鑑賞を、いろいろな角度から深めることができる。</p>				<p>①定期試験(中間・期末試験)、②チェックテスト、レポート及び提出物により評価する。各定期試験の評価は、①60%、②40%とし、前期・後期、計4回の評価の平均を学年末の成績とする。国語 I [3単位]の最終評価は、国語 I (現代文・漢文)[2単位]と国語 I (古文)[1単位]を2:1として総合的に評価する。</p>				
学習・教育目標		(G)①	JABEE基準1(1)					
		前 期	後 期					
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	1年間の国語の授業概要・到達目標・成績評価方法等を、シラバスをもとに説明する。		第16	ガイダンス奥の細道①	前期学習内容について復習する。俳諧について概説する。	
	第2	宇治拾遺物語①	動詞の活用について学ぶ。		第17	奥の細道②	俳諧の作品を分析・読解する。	
	第3	宇治拾遺物語②	特殊型の動詞の活用について学ぶ。		第18	奥の細道③	俳諧の作品を鑑賞する。	
	第4	宇治拾遺物語③	形容詞・形容動詞の活用について学ぶ。		第19	竹取物語①	物語文学というジャンルについて概説する。	
	第5	花月草子①	近世の随筆作品を分析・読解する。		第20	竹取物語②	作り物語の作品を分析・読解する。	
	第6	花月草子②・折たく柴の記①	近世の随筆作品を鑑賞する。		第21	伊勢物語①	歌物語の作品を分析・読解する。	
	第7	折たく柴の記②	近世の随筆作品を分析・読解する。		第22	伊勢物語②	歌物語の作品を分析・読解する。能楽(謡曲)の作品をVTRで鑑賞する。	
	第8	中間のまとめ	前期の中間のまとめとして、試験を実施する。		第23	中間のまとめ	後期の中間のまとめとして、試験を実施する。	
	第9	万葉集	和歌文学について概説する。		第24	大和物語	歌物語の作品を鑑賞する。	
	第10	古今和歌集①	修辞について学ぶ。		第25	平家物語①	軍記物語について概説する。平曲(平家琵琶)をテーブルレコーダーで鑑賞する。	
	第11	古今和歌集②	中古・中世の和歌文学作品の流れについて概説する。		第26	平家物語②	軍記物語の作品を分析・読解する。	
	第12	土佐日記①	仮名文学について概説する。		第27	平家物語③	能楽(謡曲)の作品をVTRで鑑賞する。レポート(物語)を課す。	
	第13	土佐日記②	日記文学—作品を分析・読解する。		第28	徒然草①	中世の随筆作品を分析・読解する。	
	第14	新古今和歌集①	和歌文学作品を分析・読解する。レポート(和歌)を課す。		第29	徒然草②	中世の随筆作品を鑑賞する。	
第15	新古今和歌集②	和歌文学作品を鑑賞する。		第30	総括	1年間の授業を総括する。授業評価アンケートを行う。		
関連科目								
教科書		高等学校 新訂国語総合 古典編(第一学習社)						
参考書		カラー版新国語便覧(第一学習社)						
副担当教員								
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。						
備考		受講生は、プリントを管理するバインダー・ノート等を準備すること。ほぼ毎時間、授業の始めにチェックテストを実施する。国語 I [3単位]の最終評価は国語 I (現代文・漢文)と国語 I (古文)を2:1として総合的に評価する。						